比較文化演習 II

科目ナンバリング　SEM-314
選択必修　　2単位

上田　仁志

1. 授業の概要（ねらい）

【日本人の曖昧さとは？：日本文化の特徴をさぐる】
参加者の研究発表を中心とする比較文学・文化のセミナーです。〈あいまい〉を切り口として、日本人の言語態度とその背景にあると文化風土を、海外との比較も交えて研究します。日常会話などの身近な例から始めて、小説や映画のセリフ、俳句などのさまざまな材料にあたって、日本人が知らず知らずに行っている〈あいまい〉な言葉遣いやコミュニケーションとはどのようなものか、その特徴を（メリット、デメリットも含めて）明らかにしていきます。さらに、そうした日本人の〈あいまいさ〉は、歴史的・社会的に見て、どのように生まれ、定着したのかを探っていきます。授業の進め方は、具体的テーマに即して、個人またはグループ単位で調査を行い、研究成果を発表するというものです。秋期セメスターでは、「個人の意見をはっきり言わない」、「和を重んじる」、「空気をよむ」などの〈あいまい〉な態度が、日本社会では重んじられる傾向がある一方で、海外からは不信の目で見られやすいのはなぜか、といったテーマを、先行研究をもとに探求する予定です。

2. 授業の到達目標

1.研究テーマに見合った文献・資料にアクセスできる。
2.文献・資料の内容を適切に整理・要約することができる。
3.文献・資料に基づき、自分の意見・解釈を交えて、発表することができる。
4.他人の意見・解釈を踏まえて、自分の意見・解釈を再検討できる。
5.研究テーマを通して学んだものを文章にまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は、平常点（小テスト・課題）30%、発表40%、中間・期末テスト30%

4. 教科書・参考文献

教科書
使用しません。

5. 準備学修の内容

1.指定された文献・資料を読み、内容を要約する。
2.文献・資料の内容について、コメント文を作成する。
3.指定されたテーマについて、MELICで参考文献を調査する。
4.パワーポイントなどの発表資料を作成する。

6. その他履修上の注意事項

1. オリエンテーションを含む第1回目の授業は重要です。必ず第1回目の授業から出席してください。
2.出席は「完全カードリーダー制」です。入室時と退室時に学生証をカードリーダーに当てて読み取らせてください。

7. 授業内容

【第1回】　山本七平『「空気」の研究』(1)　担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
【第2回】　山本七平『「空気」の研究』(2)　各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
【第3回】　山本七平『「空気」の研究』(3)　グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
【第4回】　ルース・ベネディクト『菊と刀』(1)　担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
【第5回】　ルース・ベネディクト『菊と刀』(2)　各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
【第6回】　ルース・ベネディクト『菊と刀』(3)　グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
【第7回】　秋期セメスター前半のまとめと復習テストを行う。
【第8回】　中根千枝『タテ社会の人間関係』(1)　担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
【第9回】　中根千枝『タテ社会の人間関係』(2)　各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
【第10回】　中根千枝『タテ社会の人間関係』(3)　グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
【第11回】　大江健三郎『あいまいな日本の私』(1)　担当グループが内容を紹介し、テーマを提起する。
【第12回】　大江健三郎『あいまいな日本の私』(2)　各グループがテーマについて検討し、発表準備を行う。
【第13回】　大江健三郎『あいまいな日本の私』(3)　グループ単位で発表し、その後、全体でディスカッションを行う。
【第14回】　秋期セメスター後半のまとめと復習テストを行う。
【第15回】　セメスター全体を振り返り、〈あいまい〉というキイワードを通して、日本人と日本文化についてわかったかことを短文にまとめる。